

## 八王子市立松木中学校の概要

学級数	生徒数	学校運営協議会委員数
13学級	433人	10人

※1 R6時点

## 八王子市立松木中学校の2大ポイント

### ① 学校運営協議会が学校経営にしっかりと参画



金山 滋美 さん

- ◆ 八王子市立松木中学校学校運営協議会 会長
- ◆ 松木地区3校合同学校運営協議会 会長
- ◆ 地域学校協働活動推進員

Q1. CS委員として、どのような活動をされていますか？

A. 学校運営協議会が「何でも話せる雰囲気」となるように、全員が発言できる機会を作っています。協議は「全員一致」の結果に持って行くようにしています。また、保護者会で、学校が言いづらいことを代わりに伝えることもあります。学校運営は「学校だけが決めたのではない、私たちにも責任がある」と考えています。

Q2. CSと地域学校協働活動を一体的に推進していくための工夫はありますか？

A. 学校運営協議会が規則の通り、きちんと学校経営に参画して、学校の課題を共有していることがとても大きな力になります。だから協議会に推進員が参加することで、地域学校協働活動について話し合い、本当に必要な課題解決のための活動につなげることができます。実施についての細かいことは推進員と学校で調整することになります。CSは裏方ですが、学校の良さや強みを守り、足りない部分を補えるのはCSだと思っています。

Q3. 地域学校協働活動推進員として、活動を始められたきっかけは何ですか？

A. 松木中学校のPTA会長を務めた後、学校コーディネーターの依頼を受けました。他地区のコーディネーターとも、たくさん交流しました。その後、地域学校協働活動推進員としての委嘱を受けました。

Q4. 推進員の人材発掘や繋がりを深めるために、どんなことをされていますか？

A. PTA活動や地域の行事に顔を出し、保護者や地域の方と繋がりを作るようにしています。人材不足はどこも同じで、保護者を中心に、松木中とご縁のあった方に個人的にお声かけしています。地域学校協働活動に関わる人は、人柄が信頼できることを第一に、課題解決に向けて実働する人という視点を大切にしています。

### ② 2つの「熟議」で学校の課題を共有・検討

①「拡大熟議」で、学校の課題を共有

- ・回数：年1回
- ・参加者：地域全体(教員、保護者、地域住民、生徒)
- ・内容：学校の課題を主題にテーマを決めて、意見交換
- ・直近のテーマ：「どんな大人に育って欲しい？」

★ここで話題になったことから、学校の課題を捉え、学校運営協議会へ

②学校運営協議会(これも熟議)で、課題の具体的な解決策についての検討

《報告》 ※一部のみ紹介

・次年度標準服及び体操着について →★ココをPick Up!

《議題》 ※一部のみ紹介

・学校運営協議会アンケートについて

標準服は、夏服を購入しない方向だったが、生徒の声から、夏・冬どちらかを購入としたいと思っています。体操着は、ネームを取ることで値上がりに対応したいと考えています(校長)

近くには、常に私服の学校もありますね。将来的に、私服もいいのでは。面接や式典のときにはどうするかを伝えていけばよいでしょう(CS委員)

生徒会主催「カジュアルウィーク(私服か体操着で登校する期間)」も評判がよかったです。一部、周りの目を気にせずと体操着の生徒もいました。今後、生徒会とも相談してみます(校長)

前回、ネームを取ると個人がわからないので、授業に影響があると先生たちから意見が出ていたと思いますが、どうでしょうか?(CS委員)

年度初めは、エンカウンターで使う名札を使用して対応することで、先生たちも納得しています(副校長)

③「熟議」から課題の解決を考えた例

学校の課題：「どうすれば不登校を減らせるか」

★小・中の3校合同学校運営協議会で、約3年間をかけて「熟議」

- ・まずは不安を取り除いて、物理的・心理的な安全基地を作ろう。
- 大事なことは、将来社会に出て自立すること、様々な支援を受けて生活していけること。そのための繋がる場所を提供できないか？
- 実際のサードプレイス「ぬくぬく」を、自治会館を借りて、開設。

